

第39号 2006.11.27

高知県立幡多けいみん病院発行

〒788-0785

宿毛市山奈町芳奈3-1

TEL (0880)86-2222(代)

http://www.pref.kochi.jp/~hata

病院ニュース

News Letter

病気ひとくちメモ

脳卒中について

脳神経外科 細田英樹

脳卒中とは、脳の血管が詰まったり破れたりすることにより、脳に酸素や栄養が届かなくなり、脳の働きが妨げられて、様々な症状を起す病気です。

脳の血管が詰まる病気には“脳梗塞”があり、脳の血管が破れる病気には、“脳出血”と“くも膜下出血”があります。

脳卒中が起こると、顔面・手足の麻痺やしびれ感が出現したり、言葉が出なくなったり口がもつれたり、立ったり歩いたりするのにバランスが取れなくなったり、物が二重に見えたり、部分的に見にくいところが出現したり、激しい頭痛がしたり、意識が悪くなったりと、様々な症状が“突然”出現します。場合によっては、症状が出現してから数時間から数日の間に徐々に悪くなることもありますし、最悪の場合、生命に関わることもあります。

そのような脳卒中の最大の原因は動脈硬化であり、脳卒中を

起こさないようにするには動脈硬化が進まないよう、普段から予防する必要がありますが、もし、脳卒中が疑わしい症状が出現した場合には、すぐに病院を受診するか、救急車を呼ぶことが大切です。



部署だより

手術室への

保護者同伴入室について

手術室

いよいよ手術室に入室するとうときは誰でも緊張と不安を感じると思いますが、お子様の場合はなおさらのことと思います。

手術室に入るお子様の恐怖心やストレスを最小限にし、少しでも安心して手術を受けていただくために、当院ではご家族と一緒に手術室の中まで入って

ただくようおすすめてしています。具体的には次のようになります。病室からお子様と一緒に抱っこ、歩行、又はベッドで手術室へ向かいます。手術室に入る際には、ご家族の方に専用の帽子の着用だけをお願いし、履物・衣服は着替える必要はありません。ご家族が普段どおりの服装でいることで、お子様がより安心しやすくなります。

手術室の中まで入って行き、お子様が眠るまで一緒に付き添っていただきます。眠りましたら退室していただくようになります。お子様が眠る際、酸素の流れるマスクを顔に当て、点滴から麻酔の薬を入れます。薬が入ると、お子様はすぐに眠ってしまいますが、心配いりません。退室の際には、担当の看護師が手術室の外までご案内いたします。



以前は手術室の手前のホールでご家族と別れ、看護師や医師と一緒に手術室に入室していました。

そのため不安で泣き出してしまってお子様が多くみられ、見送るご家族の方もより多くの不安を抱いていたと思われま

す。現在はご家族といっしょに手術室まで入室することができ、さらに、抱っこされたままでの麻酔導入もできるようになりました。

その結果子供が泣く事例は減り、麻酔のリスクやご家族の方の不安も軽減されています。



くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者様へのサービス向上を目的として活動しています。

診察の順番は

再来機で決まります

ご意見箱に「再来機で受付し

ても、結局窓口で順番を取らないといけない。機械で受付したときに診察の順番がとれるようにできれば良いのでは？」というご意見がありました。実際はご要望のとおりになっていません。診察の順番は再来機で受付けた順番で決まっています。各ブロック受付で先を急ぐ必要はありません。

もう少し詳しくいうと、予約の有無により分かれていて、予約ありの方は同じ予約時刻の中で再来機の受付時刻が早い順番に診察します。

予約なしの方は再来機の受付時刻の早い順番に一覧が作られ、予約診察の合間に診察します(婦人科は予約なしの方は予約診察終了後になります)。

ただし予約の有無に関係なく、診察前に検査がある方は、検査結果が出るまでお待ちいただくなくてはなりませんのでご了承ください。

接遇に関するご意見について

今年4月から10月までにいただいたご意見は下表のとおり111件ありますが、その中で接遇に関するご意見は32件で一番多く

ご意見の集計

分類	回収月	4-10月
	10月	合計
病院運営、経営について	1	14
施設、療養生活について	1	22
待ち時間について	2	11
接遇について	5	32
感謝、お褒め	1	10
事務手続きについて	6	21
個人情報	0	1
合計	16	111

なっています。

内訳をみると、医師の接遇に対するものが14件、受付事務に対するものが8件、看護師に対するものが3件などとなっています。医師に対するもののうち、7件はある医師に対して同一の方からと思われる苦情でした。

受付事務については、受付事務全体に対するものが2件、個人的に指摘されたものが6件でした。個人の接遇については管理者が個人指導を行なっています。また忙しさが原因となっている面があったため、Aブロックでは朝の忙しい時間帯の受付を一人増員し、改善を図りました。

た。

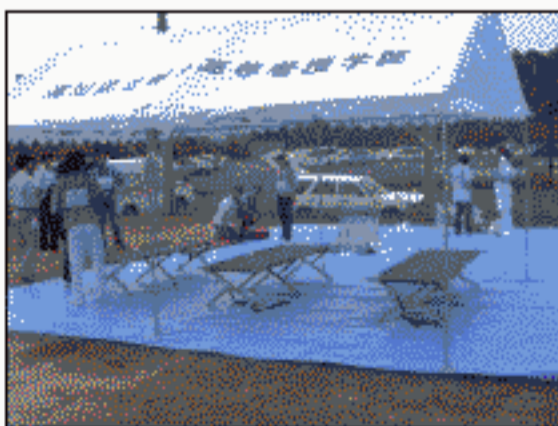
くすのき委員会では、いただいたご意見を1件ずつ取り上げ、改善できるところは何か話し合っています。今後とも貴重なご意見をいただけるよう、よろしくお願ひします。



大規模災害訓練

今後30年間に南海地震が起きる確率は50%といわれていますが、みなさんは何か備えをしていらっしゃるでしょうか。

当院では10月28日(土)に南海地震などの大規模な災害を想定した災害訓練を行いました。



幡多看護専門学校のグラウンドに設置された救護所

昨年引き続き地域の医療機関にもご協力いただき、15施設から約150名の参加がありました。今年も遠く安芸市からの参加もありました。

訓練の内容は、被災者の治療の優先順位を振り分けるトリアージ、幡多看護専門学校のグラウンドに開設した救護所での応急処置、消防署にご協力いただき救急車での患者搬送、病院に運ばれてきた患者の治療、エレベーターが停止した院内での患者搬送、患者の消息を把握するための情報整理などです。

訓練を成功させるためには、患者役の演技力が非常に重要だといわれています。患者役は災害訓練用に開発された特殊メーキャップ（出血だけでなく、内臓の露出など目をおおうような



病院内に設けられた重傷者処置エリア

大怪我も）を施し、真に迫る演技で臨場感を盛り上げました。

また災害現場では人も物も足りないことが容易に想像できません。今回の訓練でも救護所では担架が不足して、思うように患者搬送ができなかったり、病院へ患者を搬送するための車がなかなか戻ってこなくてイライラする場面がありました。また昨年の反省から、今年は落ち着いて患者の状態把握や治療をしっかり実施しようとしていたのに、やはり現場はかなり混乱していました。

現場での訓練が終了後、参加者全員が会議室に集まり反省会を行い、様々な意見が出されました。

先日、高知市で災害医療に関する研修会が行なわれ、講師が「災害訓練がスムーズにいったらそれは大失敗です。うまくいかなかったところをどうすればいいか考えることが非常に大切です」と説明していました。そういう意味で今回の訓練は大成功でした。



クリスマスコンサートのお知らせ

中村交響楽団の皆様のご好意により、今年も恒例のクリスマスコンサートを開催できることになりました。

このコンサートはボランティアで開催されており、幡多看護専門学校の学生さんにも、入院患者さんの介助や会場の準備のため手伝っていただきます。

当日は放射線科前のロビーがクリスマスモードと温かな雰囲気に包まれます。皆様お誘いあわせのうえ多数ご参加ください。

日時 12月19日(火) 19:00開演
 場所 2階放射線科前ロビー
 出演 中村交響楽団
 曲目 クリスマスソング他
 料金 無料



からだにやさしい食生活

おいしく減塩しましょう

栄養科

「塩分控えめ」「減塩」といった商品をお店で目にするのがよくあります。

確かに健康を維持するうえで塩分のとり過ぎは高血圧を招くためすすめられません。

しかし、ただ「味付けを薄くする」のではせっかくの楽しい食事の時間が物足りない・さみしいものになってしまいます。食事が減り、栄養素が充分にとれない…ということになりかねません。

そこで調理の工夫で塩分控えめをおいしくしましょう。

- ① 柑橘類や酢の酸味を利用する
- ② 香味野菜・香辛料を取り入れて香りでおいしさアップ
- ③ 焦げ目や焼き目の利用は風味・香ばしさが食欲をそそる



病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

④新鮮な材料を使い素材そのものの味を楽しむ
その他、主菜はしっかりと味をつけて、副菜を薄味にするなどの変化をつけるのもよいでしょう。食事は毎日のことですので極端な変化をつけるよりご自分で長く続けられる工夫を見つめましょう。



12月研修予定

患者様向け

5日（火）糖尿病教室（糖尿病のくすり／献立の立て方）
＊糖尿病教室は興味のある方はどなたでもお気軽にご参加ください

7日（木）母親学級（妊娠中の栄養／起こりやすい異常）

14日（木）母親学級（小児科のお話し／お産の準備と妊娠体操）

19日（火）糖尿病教室（日常生活の注意点①／外食・嗜好品について）

21日（木）母親学級（分娩経過と呼吸法／病棟案内・乳房マッサージ）

病院職員向け

1日（金）医療安全研修会（11月27日～）

11、12日 DPC研修会

25日（月）MCカンファレンス

26日（火）幡多地域継続看護連絡会

28日（木）NST勉強会

休診のお知らせ

診療科	日付
精神科 神経内科	12/8(金)

10月の統計

外来患者数	15,399人
新外来患者数	2,438人
紹介患者数	395人
新入院患者数	567人
退院患者数	553人
平均在院日数	15日
救急車・時間外患者数	1,311人
手術件数	208件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。